



令和4年12月22日(木)

校長室より(140)



こんにちは。

今日は、二十四節気の「冬至」です。冬至とは、「太陽が南回帰線の真上にくるときで、12月の22、23日ごろ。北半球では、一年じゅうで夜がいちばん長い。」と例解小学国語辞典には出ています。要するに「地球と太陽の位置の関係で、1年のうちで夜が一番長い日」ということです。冬至の日は、「ゆず湯」に入ったり、南瓜を食べたりする風習があります。昨日の給食で「鱈の柚子みそ焼き」や「ほうとう汁」が出たのは、「みんなが元気でいられるように」という高浦先生の願いがこもっているからです。

今日の午後は、「大掃除」の時間でした。クラスによって、5時間目にしたり6時間目にしたりしていました。普段から掃除しているところはもちろんですが、机や椅子の脚の下(底)に詰まったゴミを尖った物で引っ掻き出したり、廊下や教室の床を水拭きしたり、配膳台を磨いたりしました。高学年では、エアコンのフィルターについた綿埃をきれいに洗い流しているクラスもありました。

あと10日間で2022年も終わりです。2022年にできることは今年のうちに、新しい年2023年を迎えましょう。

